

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|---------------|---------|----------------|---------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 390,846 | 流動負債 | 69,442 |
| 現金及預金 | 294,861 | 買掛金 | 15,215 |
| 受取手形 | 3,775 | 未払金 | 1,753 |
| 売掛金 | 57,895 | 未払法人税等 | 11,698 |
| 製品 | 26,455 | 未払事業税 | 3,973 |
| 原材料 | 1,383 | 未払費用 | 23,969 |
| 貯蔵品 | 21 | 預り金 | 255 |
| 前払費用 | 3,322 | 仮受金 | 9,844 |
| 短期債権 | 3,496 | リース債務 | 2,732 |
| 仮払金 | | | |
| 貸倒引当金 | △ 367 | | |
| 固定資産 | 42,587 | 固定負債 | 15,050 |
| 有形固定資産 | 23,904 | 長期未払金 | 8,160 |
| 建物 | 2,704 | 長期リース債務 | 6,890 |
| 構築物 | 377 | | |
| 機械装置 | 6,455 | 負債合計 | 84,492 |
| 車両運搬具 | 0 | | |
| 工具器具備品 | 481 | (純資産の部) | |
| リース資産 | 13,886 | 株主資本 | 348,941 |
| 無形固定資産 | 10,340 | 資本金 | 100,000 |
| ソフトウェア | 829 | 資本剰余金 | 60,000 |
| 借地権 | 9,487 | 利益剰余金 | 188,941 |
| 利用権 | 23 | 利益準備金 | 13,600 |
| 投資その他の資産 | 8,343 | その他利益剰余金 | 175,341 |
| その他投資 | 8,343 | 繰越利益剰余金 | 175,341 |
| | | 純資産合計 | 348,941 |
| 資産合計 | 433,434 | 負債及び純資産合計 | 433,434 |

(注)記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- 商 品 …………… 個別法による原価法
(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- 製 品 …………… 移動平均法による原価法
(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- 原 材 料 …………… 移動平均法による原価法
(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法を採用しております。）

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒れ実績率により、貸倒れ懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込み額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要事項

消費税等については、税抜方法により処理しております。ただし、資産に係わる控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用としております。

2. 会計方針の変更に関する注記

記載事項はありません。

3. 1株当たり情報に関する注記

| | |
|------------|-------------|
| 一株当たり純資産 | 109,044円09銭 |
| 一株当たり当期純利益 | 8,757円95銭 |

4. 当期純損益金額 28,025 千円